

岡山県感染症週報 2017年 第31週 (7月31日～8月6日)

岡山県は『腸管出血性大腸菌感染症注意報』発令中です。

◆2017年 第31週 (7/31～8/6) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

第29週	5類感染症	後天性免疫不全症候群	1名 (30代 男)
		梅毒	1名 (40代 男)
第30週	2類感染症	結核	1名 (20代 男)
	5類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	1名 (40代 女)
		梅毒	1名 (40代 男)
第31週	2類感染症	結核	1名 (20代 女)
	4類感染症	レジオネラ症	1名 (90代 女)
	5類感染症	梅毒	2名 (20代 女 1名、40代 男 1名)

■定点把握感染症の発生状況

患者報告医療機関数：インフルエンザ定点 84、小児科定点 54、眼科定点 12、STD 定点 17、基幹定点 5

○手足口病は、県全体で 401 名 (定点あたり 9.61 → 7.43 人) の報告があり、前週より減少しました。

○ヘルパンギーナは、県全体で 97 名 (定点あたり 2.07 → 1.80 人) の報告があり、前週より減少しました。

【第32週 速報】

○腸管出血性大腸菌感染症 2名 (O111: 幼児 男 1名、O157: 50代 女 1名) の発生がありました。

(8月9日)

1. **腸管出血性大腸菌感染症**は、2017年第31週まで (～8/6) に21名が報告されています。さらに第32週 (8/9) にも2名の報告があり、患者の発生がつついています。岡山県では「**腸管出血性大腸菌感染症注意報**」を発令し、注意喚起を図っています。例年、7～8月は最も発生が多くなる時期です。この季節は細菌が増殖しやすい高温多湿な環境になっていますので、手洗いを徹底するとともに、食品は冷蔵庫で保存し、調理後はできるだけ速やかに食べる、食肉は中心部まで十分に火を通すなどの食中毒対策を励行し、感染予防に努めましょう。詳しくは、岡山県感染症情報センターホームページ『**腸管出血性大腸菌感染症注意報 発令中!**』をご覧ください。
2. **手足口病**は、県全体で401名 (定点あたり9.61 → 7.43人) の報告があり、前週より減少しました。患者数は減少したものの、依然として多くの患者が報告されており、大きな流行が継続しています。地域別では、岡山市 (11.00人)、倉敷市 (9.09人)、備北地域 (7.75人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。全国の第30週の発生状況は、定点あたり9.82人であり、前週より増加しました。過去10年間の同時期と比較して最も多くなっています。都道府県別では、福井県 (25.50人)、新潟県 (20.61人)、石川県 (18.69人) の順で、定点あたり報告数が多くなっており、40都道府県で警報レベルを超える流行となっています。ひきつづき県内の発生状況に注意するとともに、患者との濃厚な接触を避け、手洗いや手指の消毒を励行するなど感染予防に努めましょう。
3. **ヘルパンギーナ**は、県全体で97名 (定点あたり2.07 → 1.80人) の報告があり、前週より減少しました。地域別では、真庭地域 (3.00人)、倉敷市 (2.82人)、岡山市 (2.21人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。この感染症は、例年7～8月頃が流行のピークとなりますので、ひきつづき県内の発生状況に注意するとともに、患者との濃厚な接触を避け、うがいや手洗いを励行するなど、感染予防に努めましょう。

手足口病・ヘルパンギーナなど、夏に流行が見られる感染症が多く発生しています。

- ◆ どちらの感染症も、特別な治療法はなく、対症療法が中心となります。口の中に水疱ができ食事を取りにくい場合、柔らかい薄味の食事など工夫をし、こまめな水分補給を心がけましょう。
- ◆ 保育園や幼稚園では集団発生することがあります。うがいや手洗いを励行するとともに、おむつや便の取り扱い時には使い捨てのマスクやゴム手袋を着けるなど、感染予防に努めましょう。
- ◆ 通常、予後は良好な感染症ですが、まれに重症化することがあります。お子さんの状態に注意し、症状が悪化した場合は早めに医療機関を受診しましょう。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ	↓	★	RSウイルス感染症	↑	★
咽頭結膜熱	↗	★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↘	★
感染性胃腸炎	↗	★★★	水痘	↘	★
手足口病	↘	★★★	伝染性紅斑	↓	
突発性発疹	↗	★★	百日咳	↑	★
ヘルパンギーナ	↘	★★	流行性耳下腺炎	↘	★
急性出血性結膜炎	→		流行性角結膜炎	↗	★★
細菌性髄膜炎	→		無菌性髄膜炎	→	
マイコプラズマ肺炎	↓		クラミジア肺炎	→	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	→	* 感染性胃腸炎(ロタウイルス)については、2013年第42週から報告対象となったため、前週からの推移のみ表示しています。			

【記号の説明】 前週からの推移： ↑：大幅な増加 ↗：増加 →：ほぼ増減なし ↓：大幅な減少 ↘：減少
 大幅：前週比100%以上の増減 増加・減少：前週比10～100%未満の増減

発生状況：今週の流行状況を過去5年間で比較し、5段階で表示しています。（発生数が多いことを示すものではありません。）
 空白：発生なし ★：わずか ★★：少し ★★★：やや多い ★★★★：多い ★★★★★：非常に多い

夏休みに海外へ渡航される方へ

夏休みに海外へ渡航される方に向けた感染症情報が、厚生労働省のホームページに掲載されています。

海外には、通常日本国内に存在しない感染症が多くあります。海外で感染症にかからないようにするには、出発前にあらかじめ渡航先の感染症に関する情報を入手しておくことが大切です。

旅行中の注意

- ・生水、氷、カットフルーツ、サラダやラクダの乳など、火が通っていないものを食べることは避けましょう。
- ・肌の露出を少なくする、虫よけ剤（ディートやイカリジン含有）を使用するなど、蚊やダニに刺されないように注意しましょう。
- ・動物には、むやみに近づいたり、触らないようにしましょう。
 （狂犬病、中東呼吸器症候群（MERS）や鳥インフルエンザなどのウイルスを持っていることがあります。）
- ・外出後は、しっかり手洗いをしましょう。

帰国した後に

- ・帰国時に発熱や下痢などの症状がある方は、空港の検疫所に相談してください。
- ・帰国時に症状がなくても、その後体調が悪くなったときは、早めに医療機関を受診し、その際は必ず渡航先も伝えてください。

[夏休みに海外へ渡航される皆さまへ！（厚生労働省検疫所）](#)
[夏休み期間中における海外での感染症予防について（厚生労働省）](#)

保健所別報告患者数 2017年 31週(定点把握)

(2017/07/31～2017/08/06)

2017年8月10日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	1	0.01	1	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	2	0.04	1	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17
咽頭結膜熱	11	0.20	-	-	5	0.45	-	-	1	0.14	-	-	-	-	5	0.83
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	41	0.76	9	0.64	21	1.91	4	0.40	1	0.14	4	1.00	-	-	2	0.33
感染性胃腸炎	316	5.85	108	7.71	66	6.00	64	6.40	13	1.86	15	3.75	4	2.00	46	7.67
水痘	19	0.35	8	0.57	6	0.55	-	-	1	0.14	1	0.25	-	-	3	0.50
手足口病	401	7.43	154	11.00	100	9.09	50	5.00	30	4.29	31	7.75	7	3.50	29	4.83
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	27	0.50	14	1.00	3	0.27	1	0.10	1	0.14	3	0.75	1	0.50	4	0.67
百日咳	2	0.04	-	-	1	0.09	1	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	97	1.80	31	2.21	31	2.82	10	1.00	7	1.00	2	0.50	6	3.00	10	1.67
流行性耳下腺炎	12	0.22	5	0.36	4	0.36	1	0.10	2	0.29	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	16	1.33	10	2.00	2	0.50	-	-	4	4.00	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2017年 31週(発生レベル設定疾患)

(2017/07/31～2017/08/06)

2017年8月10日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	1	0.01	1	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	11	0.20	-	-	5	0.45	-	-	1	0.14	-	-	-	-	5	0.83
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	41	0.76	9	0.64	21	1.91	4	0.40	1	0.14	4	1.00	-	-	2	0.33
感染性胃腸炎	316	5.85	108	7.71	66	6.00	64	6.40	13	1.86	15	3.75	4	2.00	46	7.67
水痘	19	0.35	8	0.57	6	0.55	-	-	1	0.14	1	0.25	-	-	3	0.50
手足口病	401	7.43	154	11.00	100	9.09	50	5.00	30	4.29	31	7.75	7	3.50	29	4.83
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	2	0.04	-	-	1	0.09	1	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	97	1.80	31	2.21	31	2.82	10	1.00	7	1.00	2	0.50	6	3.00	10	1.67
流行性耳下腺炎	12	0.22	5	0.36	4	0.36	1	0.10	2	0.29	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	16	1.33	10	2.00	2	0.50	-	-	4	4.00	-	-	-	-	-	-

濃黄セルに赤数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル3
薄黄セルに黒数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2
を示しています。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2017年 第31週 2017/07/31~2017/08/06)

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~	
インフルエンザ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20~	
RSウイルス感染症	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱	11	-	4	-	4	-	2	-	1	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	41	-	4	6	6	5	1	4	2	3	3	3	-	4	
感染性胃腸炎	316	7	31	69	36	33	26	14	11	9	12	7	19	8	34
水痘	19	1	3	1	-	1	1	1	4	1	2	1	2	-	1
手足口病	401	4	51	139	85	50	27	11	8	9	4	3	4	-	6
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発疹	27	-	12	11	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
百日咳	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	
ヘルパンギーナ	97	1	14	26	17	9	16	7	4	-	-	1	2	-	-
流行性耳下腺炎	12	-	-	-	-	1	2	2	1	2	1	2	1	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70~	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	16	-	2	-	1	1	-	-	1	1	-	-	1	-	5	2	-	-	1	1

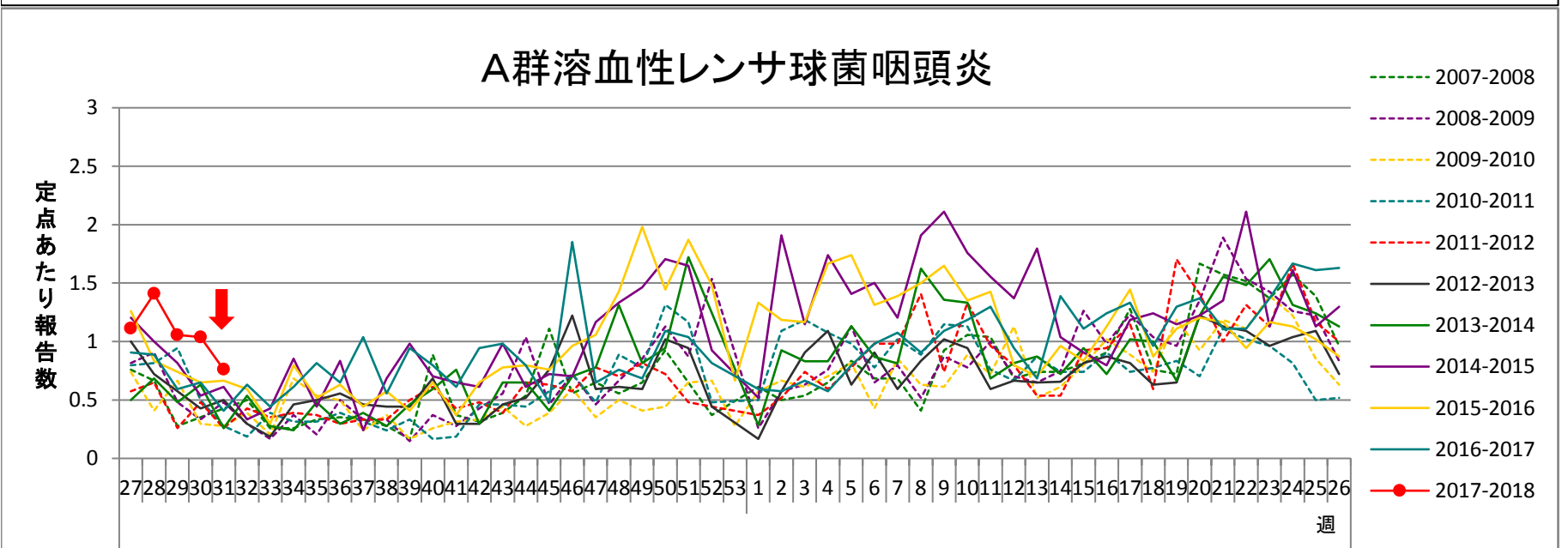
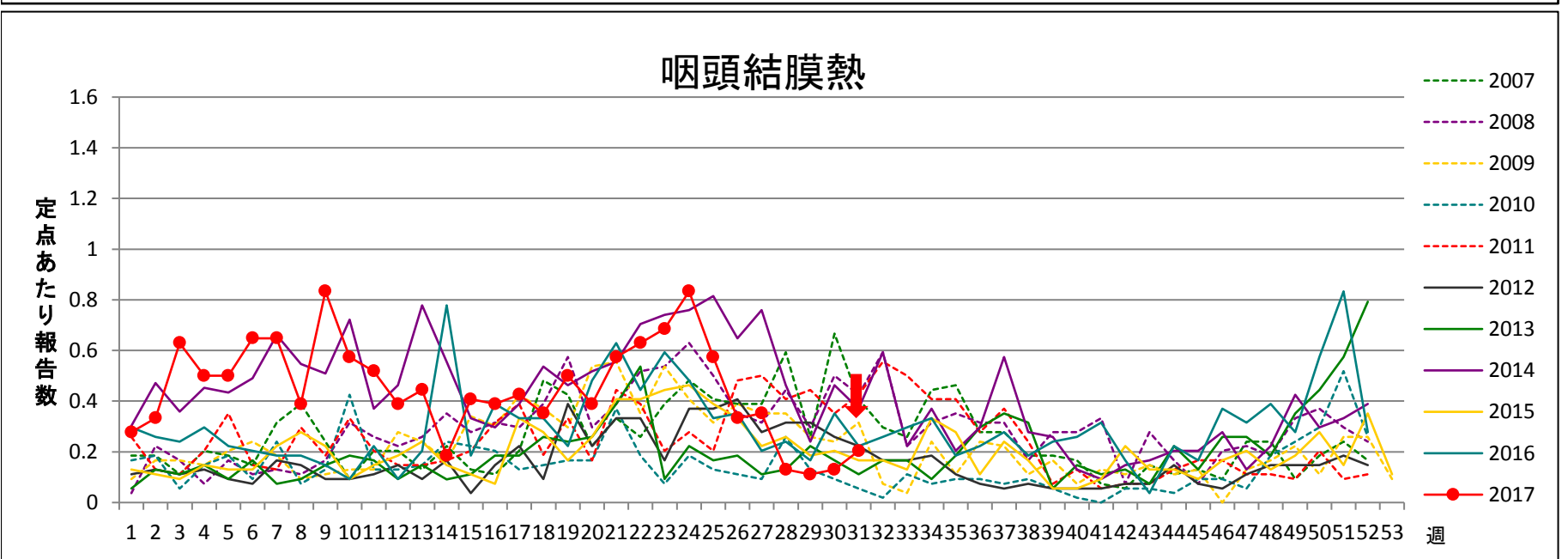
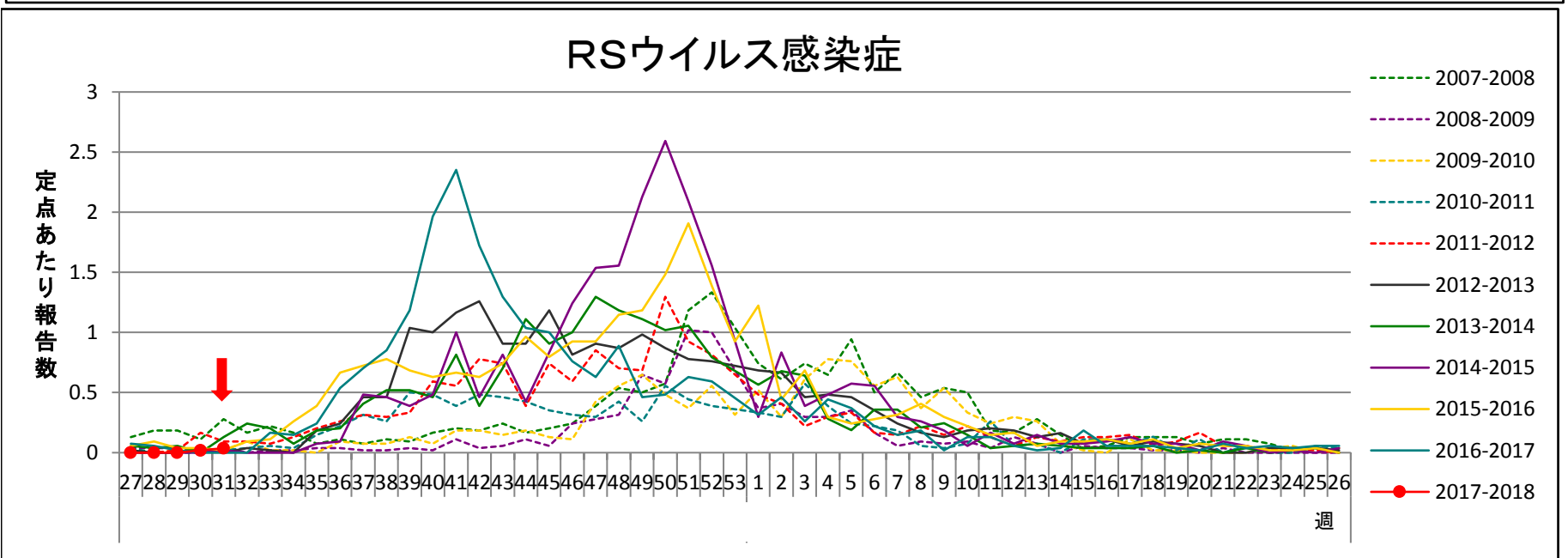
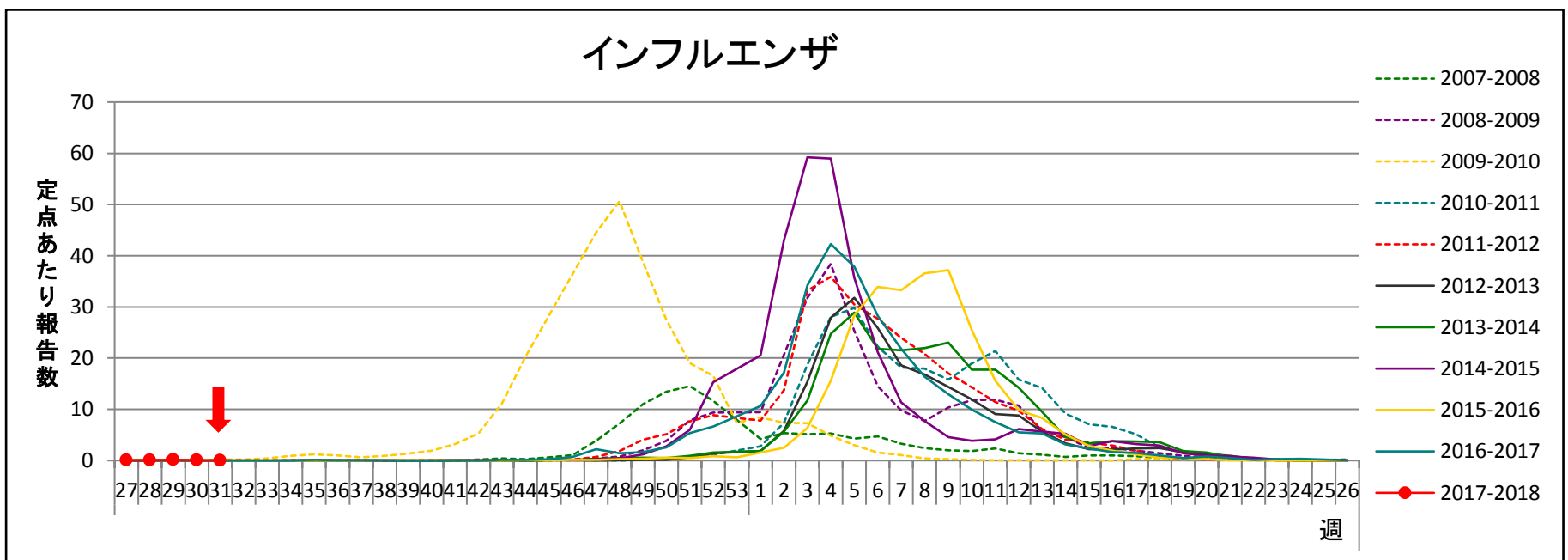
疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0)

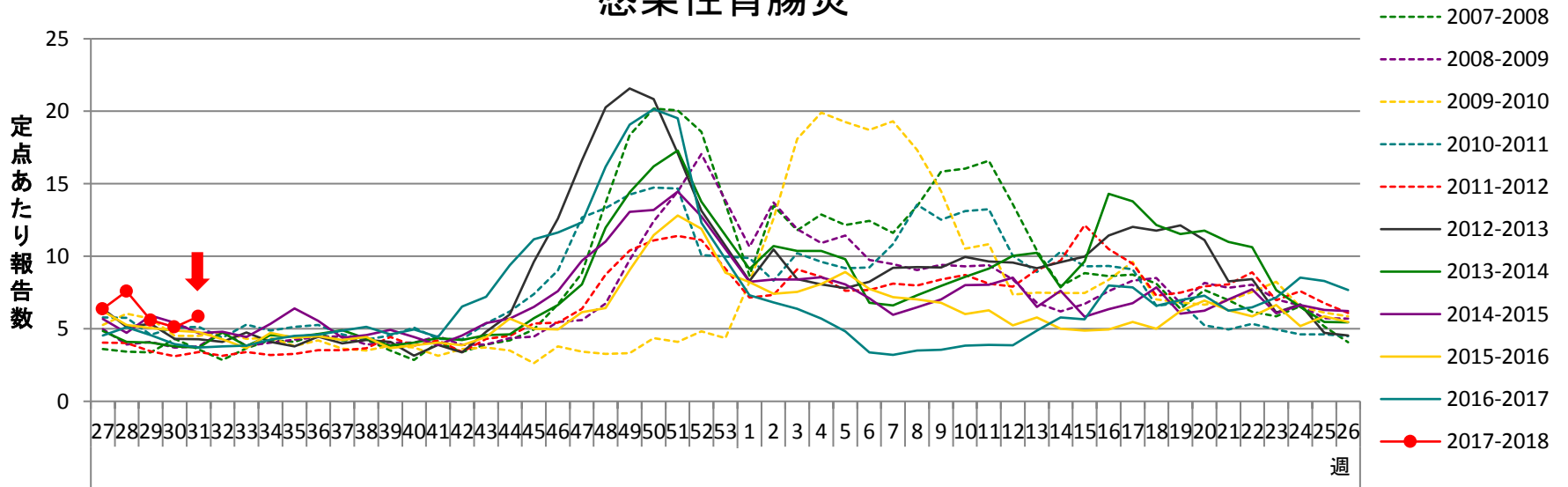
全数把握 感染症患者発生状況

2017年 31週

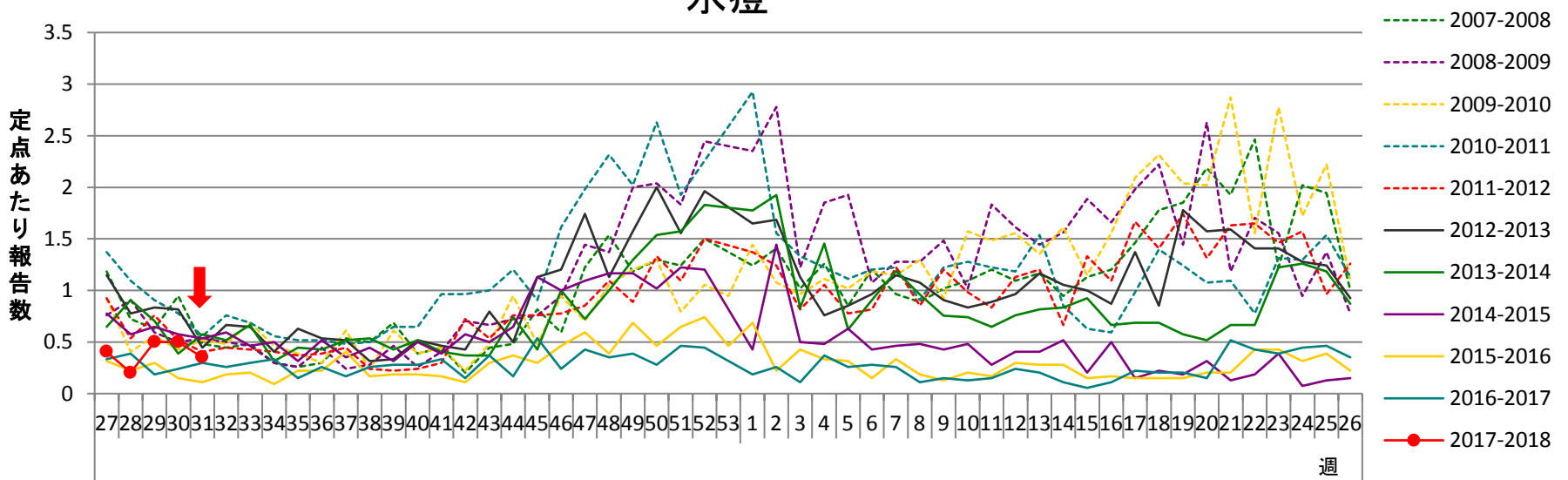
分類	疾病名	2017			疾病名	2016			疾病名	2017			2016		
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年			
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-	-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	1	213	311	ジフテリア	-	-	-	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	中東呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H7N9)	-	-	-		-	-	-		-	-	-	-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	1	-	腸管出血性大腸菌感染症	-	21	65	-	-	-
	腸チフス	-	1	-	パラチフス	-	-	-		-	-	-	-	-	-
四類	E型肝炎	-	1	2	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	1	3	-	-	-
	エキノコックス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	-	-	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサヌル森林病	-	-	-	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-	-	-	-
	サル痘	-	-	-	ジカウイルス感染症	-	-	-	重症熱性血小板減少症候群	-	-	1	-	-	-
	腎症候性出血熱	-	-	-	西部ウマ脳炎	-	-	-	ダニ媒介脳炎	-	-	-	-	-	-
	炭疽	-	-	-	チクングニア熱	-	-	-	つつが虫病	-	-	2	-	-	-
	デング熱	-	-	1	東部ウマ脳炎	-	-	-	鳥インフルエンザ	-	-	-	-	-	-
	ニパウイルス感染症	-	-	-	日本脳炎	-	-	1	日本紅斑熱	-	2	5	-	-	-
	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	Bウイルス病	-	-	-	鼻疽	-	-	-	-	-	-
	ブルセラ症	-	-	-	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	-	-	-
	発しんチフス	-	-	-	ポツリヌス症	-	-	-	マラリア	-	-	-	-	-	-
	野兔病	-	-	-	ライム病	-	-	-	リッサウイルス感染症	-	-	-	-	-	-
	リフトバレー熱	-	-	-	類鼻疽	-	-	-	レジオネラ症	1	13	26	-	-	-
	レプトスピラ症	-	-	-	ロッキー山紅斑熱	-	-	-		-	-	-	-	-	-
五類	アメーバ赤痢	-	16	18	ウイルス性肝炎	-	4	4	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染	-	5	28	-	-	-
	急性脳炎	-	3	11	クリプトスポリジウム症	-	-	-	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	2	3	-	-	-
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	5	8	後天性免疫不全症候群	-	12	12	ジアルジア症	-	-	1	-	-	-
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	-	1	7	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	-	侵襲性肺炎球菌感染症	-	25	32	-	-	-
	水痘(入院例に限る。)	-	2	3	先天性風しん症候群	-	-	-	梅毒	2	92	40	-	-	-
	播種性クリプトコックス症	-	-	2	破傷風	-	-	4	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染	-	-	-	-	-	-
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	4	1	風しん	-	-	-	麻しん	-	-	-	-	-	-
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-		-	-	-		-	-	-	-	-	-



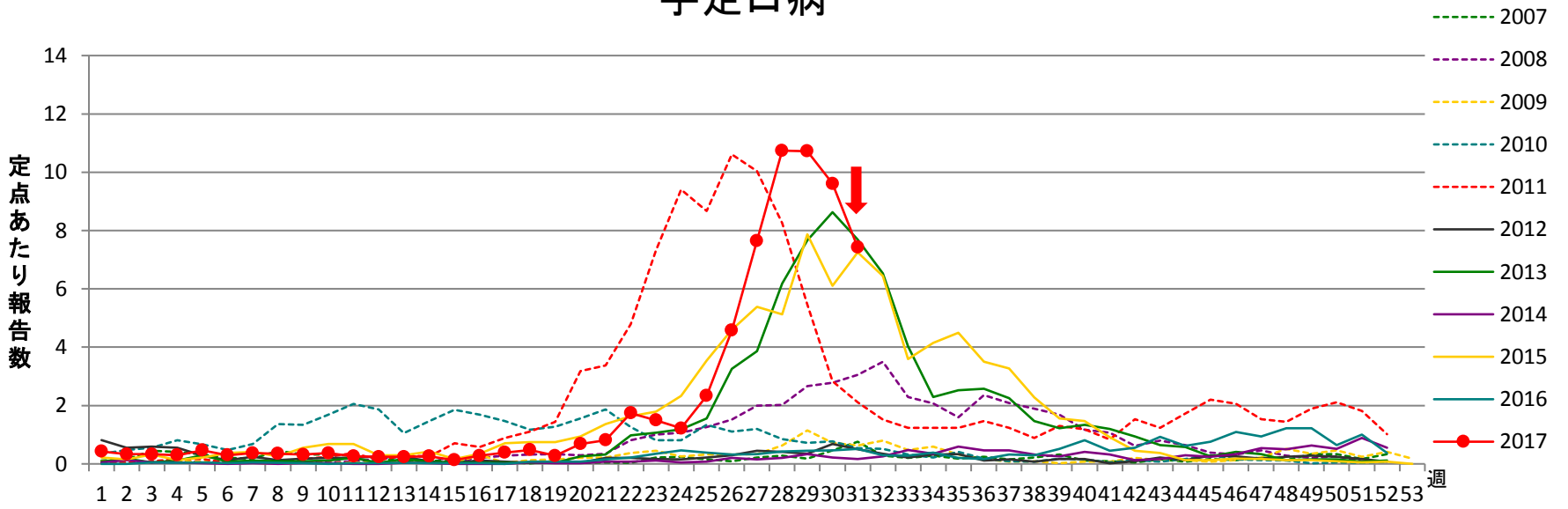
感染性胃腸炎



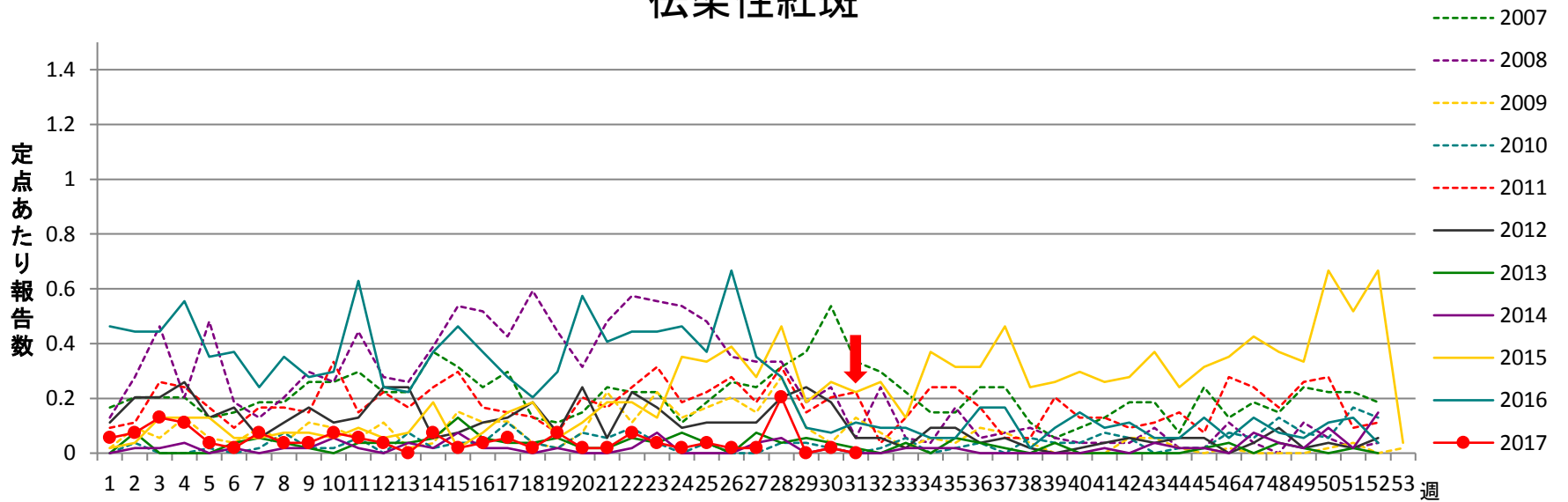
水痘



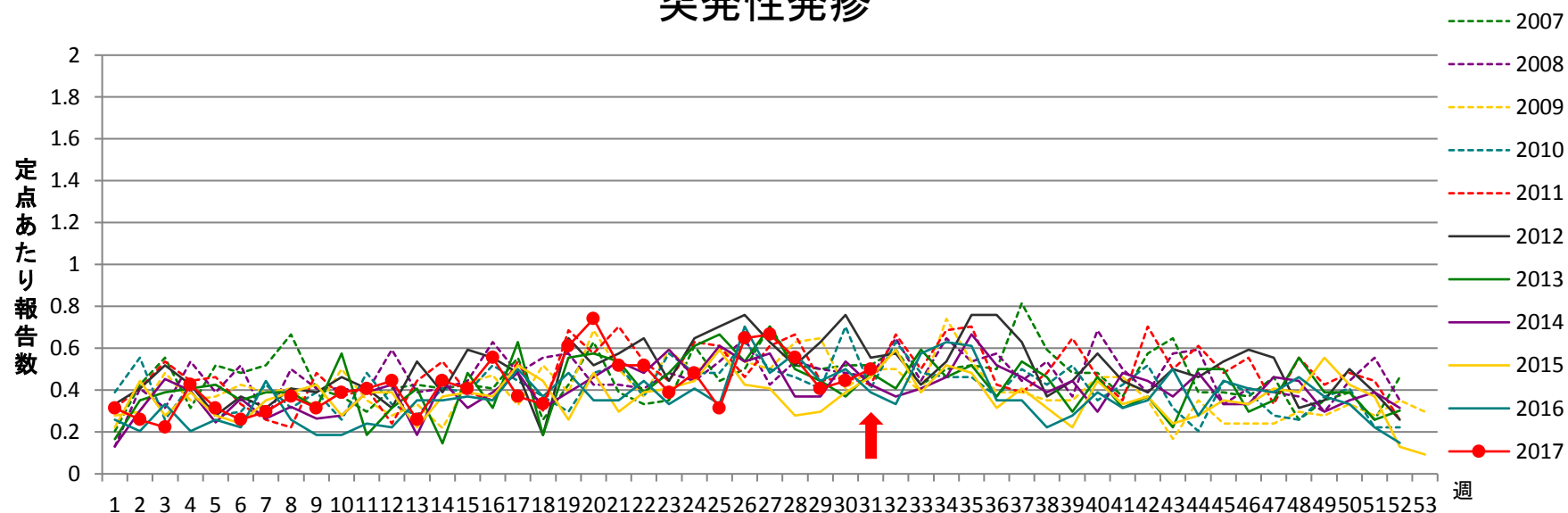
手足口病



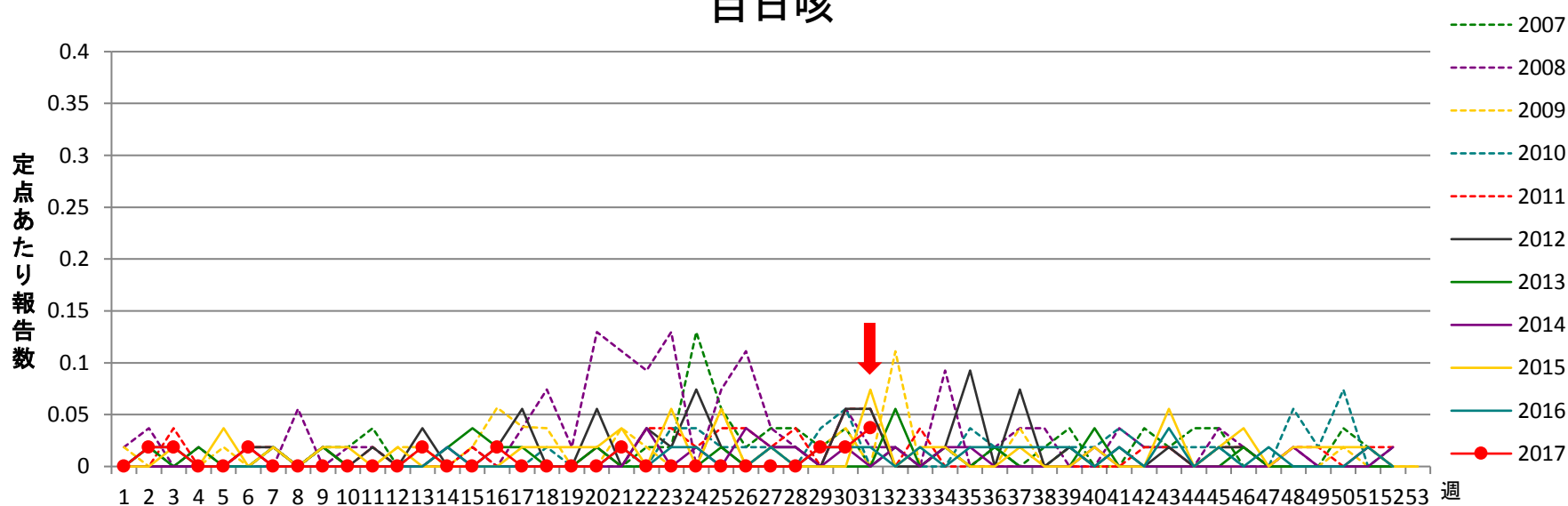
伝染性紅斑



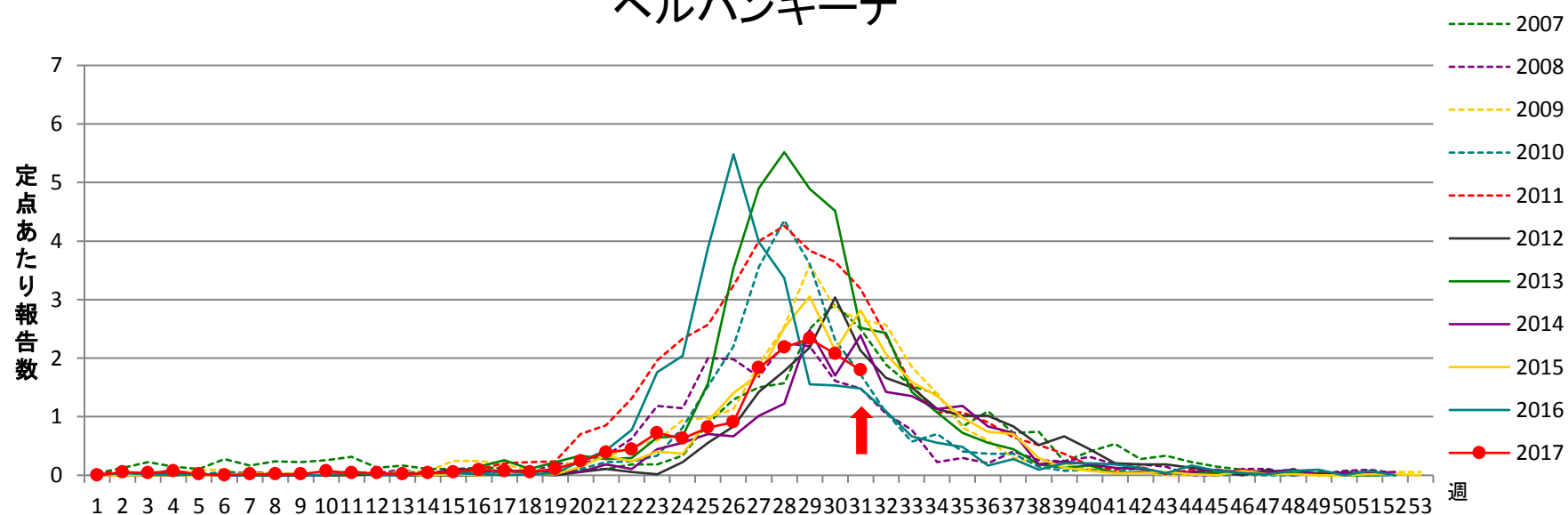
突発性発疹



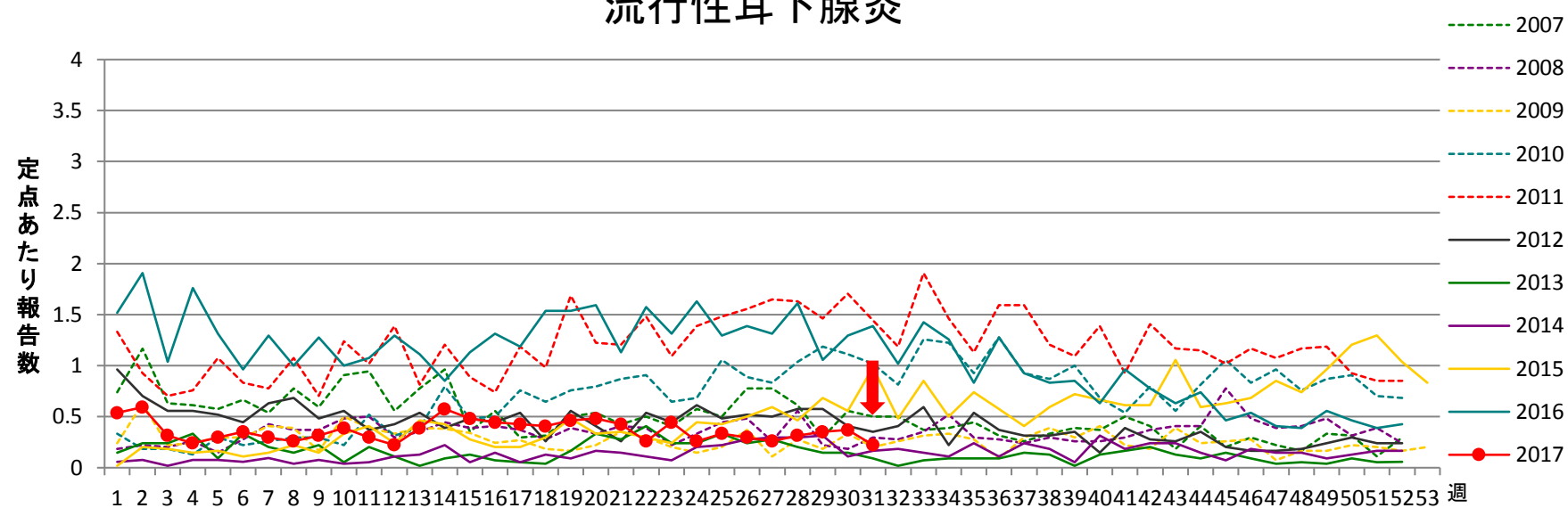
百日咳



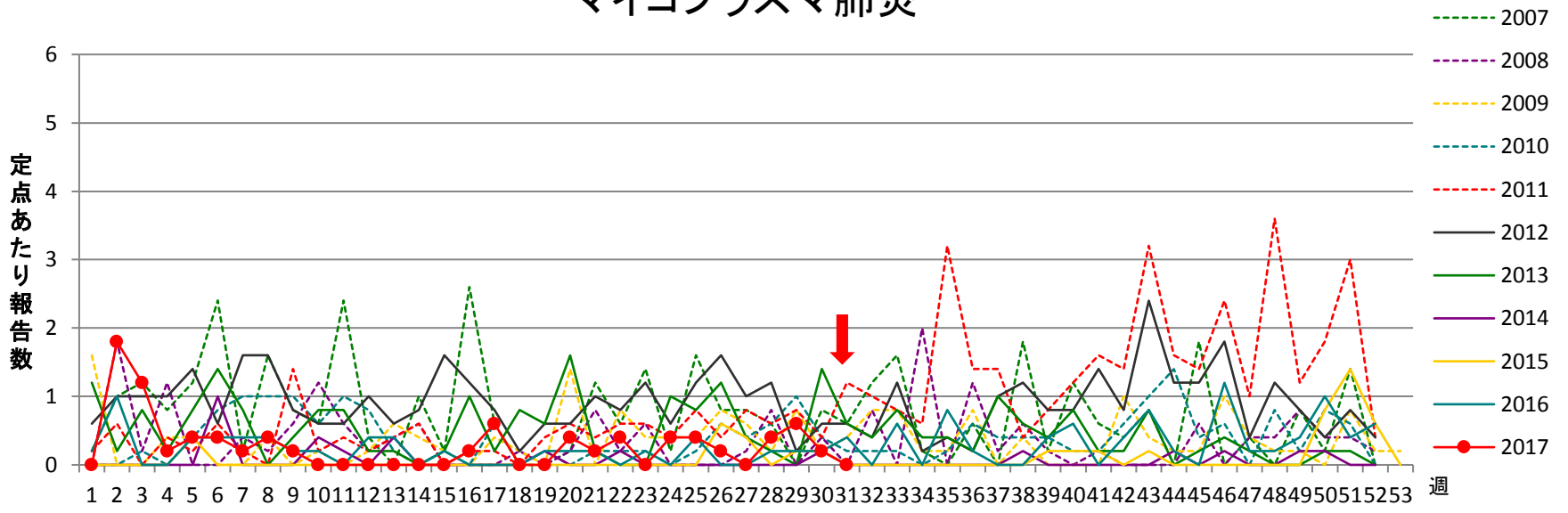
ヘルパンギーナ



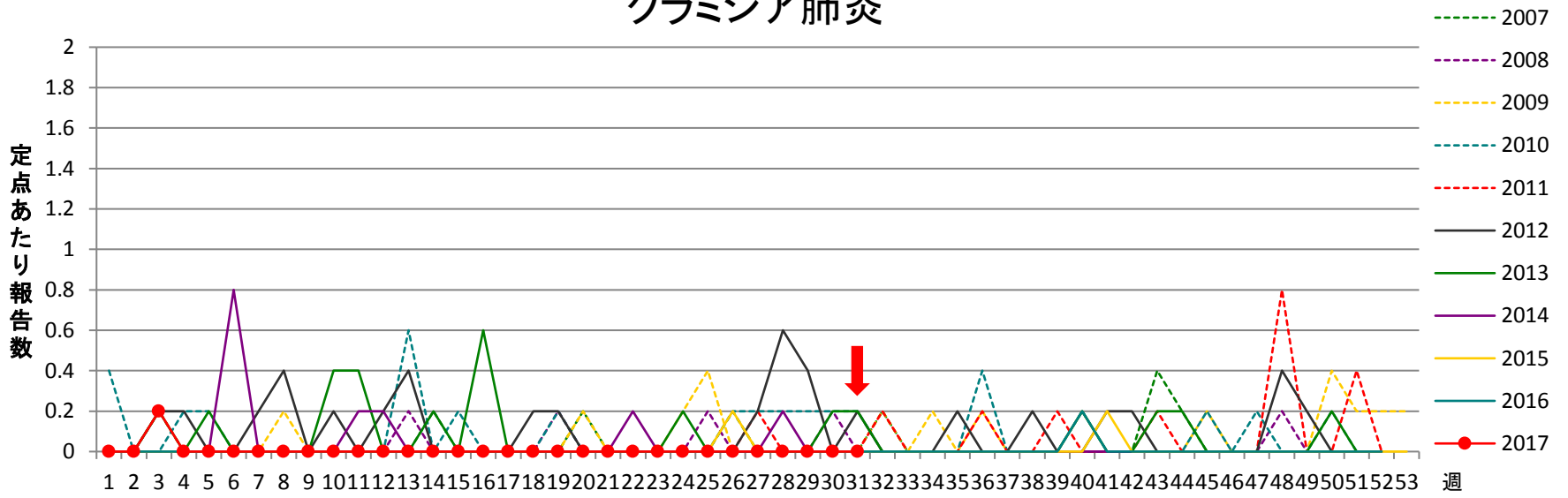
流行性耳下腺炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎



感染性胃腸炎(ロタウイルス)

